

h 広島国際学院広報

広島国際学院大学・広島国際学院大学自動車短期大学部・広島国際学院高等学校

発行者：学校法人 広島国際学院 〒739-0321 広島市安芸区中野6丁目20-1 (082)820-2345
〔ホームページアドレス〕http://www.hkg.ac.jp



初舞獅子

自動車短期大学部 講師 越智三千彦 = 撮影

目次

	私学に私塾を	1
「電 メ 子 工 学 科 から 情 報 通 信 学 科」 へ リ ー ド す る	「特集」元気な地域共同教育研究センター	2・3
	公務員志望の後輩にエール!	4
	青年海外協力隊員宮本真千子さん アフリカ ザンビアからメール	4
	小説を書く ミッチェル講師にインタビュー	5
	書画の傑作を寄贈される	5
	大学生活を有意義に	6
	学生時代の思い出と 社会人になって思うこと	6
	自分で自分の道を切り拓く力をつける 工学部	7
	未来社会を生き抜く知を修得 現代社会学部	8
	全日本ゼロハンカーレース2001 自動車短期大学部	9
	高校から発信	10
	研究室紹介	11
	「知能情報専攻」を設置 大学院工学研究科に平成14年4月から	12
	「夏休みキミの自由研究応援します」	12
第34回高城祭 その身体で! 「刹那」を感じて	12	

私学に私塾を

工学部長 いま むら あきら
今 村 詮

少子化と不況の荒波により、いよいよその存続が危ぶまれている私立大学も現れてきた。本学も教職員全員がアイデアを出し合い、それを実現して他大学にない特色を作らなければ、同じ運命をたどる可能性も否定できない段階にきている。では、どのような特色を出せばいいのだろうか? 組織自体に特色を出す必要もあろう。だが、要は組織を構成する人の意識そのものをどう変えるかということにかかっている。

具体的にはどうすればいいか。われわれ教員が学生諸君に個人的に接触し、彼らが高校時代までに受けてきた教育内容に対応したきめ細かい教育をすることではないだろうか? そのためには教科の内容を表面的に教えるだけでなく、教育を進める過程で精神的にもつながりを見つけ、人間的な信頼関係を確立する必要がある。すなわち私学の中に私塾を作ることである。その私塾の目的は、数学や電磁気学などの基本的な教科の教育でもいいし、また資格取得試験対策でもいい。さらにロボット、あるいはコンピュータグラフィックスに関するテーマでもいいだろう。要は、幕末の大阪にあった適塾のように教員と学生の精神的なつながりをもとにしたグループでの教育をすることである。それは本学の生き残りを保証する特色になると確信する。これが単なる初夢でないことを願ってこの文を終わる。

元気な 地域共同教育研究センター

特集

概要と活動

■ 本学は地域住民と、どう関わっている？

地域共同教育研究センターは平成8年に設立されて本年度6年目となった。

活動は共同研究と公開講座との2部門が中心である。大学と地域との交流を密にし、大学から地域社会にサービスを提供する。いわゆる産学共同研究の推進にも努め、科学技術の相談にも応じている。

事業推進のため共同研究専門部会と公開講座専門部会を置き、センターの基本的運営は運営委員会でおこなわれている。

平成13年度は特に地域へ広く乗り出し、前後2期の講演会をおこなった。前期「安芸地区を知ろう」は安芸区民文化センターで、後期「現代中国を知ろう」は県民文化センターでそれぞれ開催した。多数の参加があり、好評であった。

他に、中野・瀬野を中心とした安芸区の公民館、および安芸郡の各教育委員会からの講師依頼や共同事業等に協力し、現代社会学部の公開市民講座も後援している。



熱が入るセンター長の講演

公開講座

■ 地域に溶け込み交流を深めている本学

講座名	講師	開講日
海外旅行のための英会話教室(1)	Mitchell(ミッチェル)	6/9・16・23・30
海外旅行のための英会話教室(2)	Martens(マーティンズ)	10/6・13・20・27
パソコン教室・インターネット教室	渡邊(真)	9/22・29
年賀状作成教室(2回)	趙・神垣	11/17・24
講演会「安芸地区を知ろう」全7回	北川・柿本・佐々木・田崎ほか	6/1・8・15・22・29・7/6・13
講演会「現代中国を知ろう」全6回	北川・下見・中野ほか	9/6・13・20・27・10/3・10
夏休みキミの自由研究応援します	中田・酒井・荒川・佐伯・田中・神垣	8/2・3



講座が終わってもー

平成13年度は、恒例の英会話とパソコン講座のほか、新たな試みとして小中学生を対象とした事業を、公民館と共同で開催した(詳細は12ページに掲載)。さらに、前後2期の講演会をおこなった。英会話教室は「海外旅行のための英会話教室」として6月・10月の毎土曜日にそれぞれ4回ずつ開催し、工学部のミッチェル講師と現代社会学部のマーティンズ講師が担当した。できるだけ堅苦しくないものという希望で、海外の旅行事情やマナー、一般的な注意や買い物の仕方等、文字通り海外旅行のための実践的な英会話指導をお願いした。非常に好評で、来年度もこの方針を継続していきたいと思う。またパソコン関係も年賀状作成に的を絞った講座が好評であった。そして、講演会は平日にもかかわらず多くの参加を得て、有意義なものとなった。



お！見える見える

共同研究・技術支援

地域のお役に立ちます

共同研究の推進については、「課題研究」を募集しており、地域貢献度や共同研究体制の観点で審査し、研究費補助を行っている。平成12年度は4件、平成13年度は5件の応募があった。このうち採択されたのは前年度2件、今年度3件である。その成果は「ひろしまIT&テクノフェア01」等で公開している。

技術支援については、教職員の専門分野を網羅したパンフレット「地域のお役に立ちます」を周辺の企業及び団体等に配布し、ニーズの発掘を促進している。最近2年間



地域に根ざした地域共同教育研究センターを目指して



多様化する共同研究と
技術支援への対応は大学の子カラ

に依頼された相談事項(表に示す)を概観すると、企業・団体からの技術相談にとどまらず、体験学習プログラムの開発等地域社会への貢献もなされている。

このように、最近の共同研究及び技術支援は、多様化する地域共同への対応が徐々にではあるが進みつつあり、本学の存在意義を高めることにつながるものと思われる。

今後の地域共同の推進は、教職員の研究成果につながると同時に、学生の実学教育や学生の活性化に反映できる可能性を秘めており、全学的な協力が必要である。

年度	企業団体等	内容	相談員
平成12年	(財) 広島市ひと・まちネットワーク	小中学生の科学教育事業の教育技術	遠藤 敏郎
	(株) 広島安全開発	レンズを利用した太陽熱利用システムの開発	三好 一賢 青井 秀樹
	ナガオ(株)	セラミックのバイオ部門への新規応用技術の開発	佐々木 健
	タカキペーカリー(株)	パン廃棄物の有効利用技術の開発	佐々木 健
	国際協力アカデミーひろしま	バーチャルユニバーシティの教材開発	遠藤 敏郎
	三菱重工業(株)	延性モード研削加工のシミュレーション試験	李木 経孝
平成13年	日本精鋳(株)	高純度金属の精製のための技術と設備	大園 洋仁
	新川電機(株)	分光器設計に関する技術	酒井 恒
	住建産業(株)	井戸水の有効利用技術	佐々木 健
	(株) 中国新聞システム開発	ネットワーク・サーバを利用したシステム構築	鋼 昌伸
	(株) デューン	超高真空用ソレノイドコイルのガラスコーティング	李木 経孝
	産業機械メーカー	マグネシウム合金成形工程の要因制御及び表面構造	松阪 菊生

公務員志望の後輩にエール！ 公務員制度説明会

講演要旨 工学部機械工学科 平成七年三月卒業 田村秀之さん



私は現在、国土交通省福山工務事務所・工務課機械係に勤務しています。ここで「積算」という仕事に携わっています。公共施設の建設計画・設計にかかる費用の見積もり計算をすることです。積算した金額をもとに工事を発注するわけですが、発注後も工事現場の監督や品質管理をして、完成したものを受け取るまで見守らなくてはなりません。設計図面を見て、計画された施設が構造物として成り立つか、また使われている材料が正しいか判断します。自分の技術を生かせる時、仕事の面白さを感じます。



体験談に熱が入る

みなさん何と云って気持ちになるの？ 試験の種類・区分・時期・難易度など、試験情報の収集をしつかりしてください。私の場合は独学でしたが、通信教育を受けました。また、公務員試験情報誌や過去問題集にもぜひ目を通しました。教養試験は範囲が広いので、奥が深いので、的を絞った学習のほうが逆に効果的かもしれません。専門試験(論文)については、機械・電子の技術屋さんの卵として日頃から見解や問題意識をもっていれば対応できるでしょう。国家試験の場合にはさらに二次試験(面接)が控えています。私は面接試験に関する本から質問内容を想定して対策を練りました。試験前後に行う官庁訪問では、人事担当の方と実質的な話をしながら充分自己アピールしてください。

今年、建設省は運輸省・国土交通省に変わりました。多種多様な仕事に対応でき、そして先見性を持った人材が求められています。将来一緒に仕事ができる日を楽しみにしております。がんばってください。

青年海外協力隊員

宮本真千子さん

(平成11年 工学部情報工学科卒業)

アフリカ ザンビアからメール

今回は、日本の学校では絶対に見られない光景をレポートします。

私の学校では、寮の生徒に食事が用意されますが、日本の学食のように豪華ではありません。朝は「サンプ(白とうもろこしを

ゆがいて砂糖で味付けしたもの)」、昼・夜は「シマ(白とうもろこしの粉をお湯で練ったもの)」とピーズもしくはキャベツ。毎日このくり返しです。

しかし、毎月1、2日ほどスペシャルデーがあるので！ ピーフ!! 牛です。牛肉が出るのです。

その日は突然やってきました。ある午後、タウンに行こうと家を出ると、キャンパス内に一頭の牛が繋がれています。その時は、(誰のだろう?) と思っただけで、そのまま出かけました。タウンから帰ってくると、何と! 例の牛が生徒たちの手で、さばかっているではありませんか!! その行為もさることながら、それを生徒がやっているには驚きました。

“日本でも牛、食べるの?” “もちろん食べるよ” “誰がさばくの? 肉屋の人?” “う~ん、そうだね” “学校で牛さばいたりしないの?” “絶対しない。日本の学生はこんなこと絶対出来ない” しばらく物珍しげに眺めていると、“マダム、肉いる?” と

生徒がたずねるので、“牛タンちょうだい。牛タン” “頭は後でバラすから、後でもってくよ” ということで、牛タンをゲットしました。

しかし、“牛タン” と言えば、タン=舌のわけです、その物ずばりの形で我が家にやってきた牛タン...。(う~ん、どうしたものか...) と悩んだ場句、適当にスライスして焼肉にしてみました。

う~ん、ザンビアの牛肉は美味しい! さすがに1年8カ月も生活していると、こういう場面にも慣れてしまいました。いまでは、たまに鶏を買って来て自分で料理します。もちろん生きていますよ。私もたくましくなったもんだ。(2001年8月8日)



学校は調理場に早変わり



David Mitchell(デイヴィッド・ミッチェル)先生は、工学部共通基礎講座で英語を担当している。本学で講師を務めるかたわら、小説家としても活躍中である。今回のインタビューは、主に執筆活動についておうかがいした。

『Ghostwritten』出版のきっかけを教えてください。

いろいろありますが、小説を出版することが夢だったのです。

5万冊の売れ行きにのぼったそうですが、日本に対するイギリス人の関心が高いと受け止めてよろしいのでしょうか。

イギリスに限らず、日本には高い関心を持っていると思います。

しかし、これだけの情報化社会で、イギリス人がいまだに日本を「芸者とサムライの国」だと思っているとは考えにくいのですが...

ヨ・ロッパでは、日本はまだ三島由紀夫の小説の世界だと思われています。村上春樹が描いたような日本のイメージはないでしょう。

英語教師と小説家の両立は大変でしょう。

確かに忙しいですね。6時までは大学で授業、それからは小説家として仕事をしますから。原稿の締め切り間際は、特に大変です。

学生に対する印象はいかがですか。

熱心な学生もそうでない学生もいます。しかし、1人でも真剣に取り組んでくれているならば、私はその学生のために一生懸命努力したいし、満足です。それに、どのクラスでも、何人かは大変熱心に授業を受けています。また、私は学生の表面的な部分ではなく、個性を見るようにしていますので、印象といっても様々です。

日本の芸術・文化に強い関心をお持ちのようですね。

はい、好きですね。

(研究室の壁には日本画が飾られ、お香や日本茶も置いてある。落ち着いた雰囲気)

余裕のある時は、日本の骨董品や美術品を買うこともあります。しかし、物があふれすぎると精神的に重たくなる。便利な(useful)物と美しい(beautiful)物だけを、最低限そろえるようにしています。

将来やってみたいこと、目標などありましたら教えてください。

北海道に旅行してみたいです。イルカとも泳いでみたい。仕事面では、よりよい授業ができるようになりたい。英語教師は、たえずステップアップしていける職業です。また、人間的にもよい人になりたいと思っています。

今年3月に『Number 9 Dream』を発表されましたが、仕上がり具合はいかがですか。主人公は屋久島に住む10代の少年とお聞きしましたが、やはり旅行の経験を盛り込まれたのですか。

昨年9月末に書き上げました。この作品が今年10月にイギリス最大の文学賞である「ブッカー賞」の最終選考までいきました。デビュー作では、8分の1が東京、8分の7が他国を舞台にした小説でした。しかし2作目では、ストーリーはほとんど日本で展開しています。いま、3作目にとりかかっています。

また、3作目の話をお聞かせください。それから、受賞の喜びを期待しております。どうもありがとうございました。

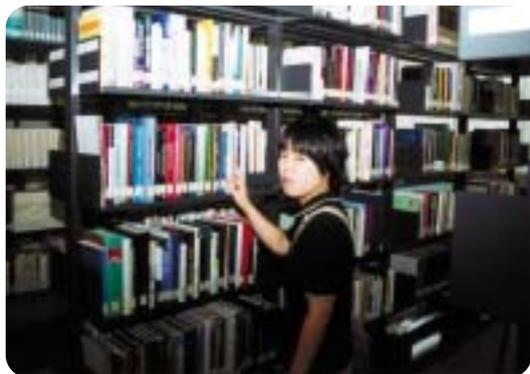


やさしい笑顔で話すミッチェル講師

書画の傑作を寄贈される

- 感動と感謝 -

新学生会館「ほことり」の建設にあたり、次のかたがたから計20点の書画を寄贈された。磯辺徹男氏・梅田義博氏・菅尾洋子氏・高須 登氏・谷川和穂氏・山田 諭氏である。尊い奉仕のお心に対し、感謝と敬意の誠を捧げる。



宣伝や広告に興味を持っている

大学生生活を有意義に

映画と宣伝方法について勉強する

現代社会学部3年生 たか た み き 高田 未来

私は現代社会学部3年生です。消費社会論を専門とされている大橋先生のゼミに所属し、それぞれ興味あるテーマについて3・4年生の2年間で調査していきます。

私は大学生になってから、映画に興味を持ちはじめました。それまでも映画が嫌いなわけではなかったのですが、あまり

積極的に見ることはありませんでした。自分の好きなことを自由にできる時間が増え、映画館に通ったりビデオを借りたりしてよく見るようになりました。

また、宣伝や広告といったものにも興味を持っています。効果的な宣伝方法とはどのようなものなのか調べてみたいと思いました。

このようなわけで、映画と宣伝方法について勉強することにしました。映画の興行成績と宣伝方法には、どのような関係があるのかということ詳しく勉強しようと思っています。ゼミでは参考になるような文献を読み、研究に役立てています。

大学では、ゼミの授業などで自分の興味のあることを深く勉強することができます。私のゼミでも、これからいろいろな勉強を詳しくやっていくこととなります。大学生生活をもっと有意義に過ごせるように、一生懸命がんばろうと思います。

学生時代の思い出と 社会人になって思うこと

工学部 機械工学科 昭和48年3月卒業

なかしま みつ のり
中島 満則



毎日忙しい職場

印象に残る学生時代の思い出は二つあります。

一つは、入学早々退学を願い出たことです。入学したものの授業に興味を湧かず、大学のレベルはこんなものかと不満を抱き退学を願い出ました。当時の学生課長は高校の先輩でした。「どんな環境下にあっても己がいかにその環境を活かせるか、これが個人の真の能力ではないでしょうか」とその人から言われました。この言葉になんとなく納得して、4年間在学することになったのです。

もう一つは、2年生の終わりに四国八十八ヶ寺巡礼に出たことです。約30日間、徒歩での一人旅です(巡礼の場合一人旅でも同行二人と記す：弘法大師といつも一緒の意味)。

この旅で得たことは「決断、実行、責任」です。長い旅行中には、山中で幾度も道に迷いました。Y字路でどちらに進んでよいか迷った時、その場に立ち止まっていたのでは解決できません。どちらかに進まなくてはなりません。その結果が間違っていたとしても自分が選んだ道です。責任は自分にあります。

学生は、お金を払って知識を得る。社会人は、知識を出してお金を得る。これが社会人と学生の決定的な違いだと思います。社会人になると、もっと給料が欲しいとほとんどの人が思います。裏返せば、学生ならもっと知識を得たいと思ってもよいのではないのでしょうか。

最後にもう一つ、基礎学力と応用力は別物です。社会では後者を求めています。

工学部

自分で自分の道を
切り拓く力をつける

● 地域との技術交流会を開く

— 産学官の連携を推進 —

日時 : 2001年9月29日(土) 10:30~15:00
場所 : 本学中野キャンパス

本学は、地域の発展に寄与する方法を模索している。ひとつの試みとして、技術交流会を実施した。地元企業の代表や小・中・高等学校の理数系教員にお集まりいただき、本学教員と交流した。技術講演会、施設公開のほか、懇談をかねた昼食会を行った。参加者は合計37名で、評価も上々だった。来年はより多くの参加を得られるよう準備を急ぎ、広く案内したい。



技術講演会 = 会場

参加者にアンケートをとったところ、下の結果を得た(回答数26のうち)。

講演会について	大変参考になった : 10	若干参考になった : 15
施設公開について	大変参考になった : 14	若干参考になった : 9
技術交流会について	続けた方がよい : 24	

● インターンシップを体験して

夢がだんだんチカラになる!

電気工学科3年生 ^{うらがみ} 浦上 ^{けい} 佳

実習先 リョービ株式会社
平成13年8月20日~31日



今回のインターンシップでは、会社ではどのような仕組みでどのような仕事をしているのかなど、11日間にわたって実地に体験し学びました。色々な職場を回り、社員の方と一緒に仕事をしていく中で沢山の事を教わりました。普段大学生活の中では味わう事のできない貴重な体験

ができ、とてもいい勉強になり、夢が広がる思いがしました。

電子工学科3年生 ^{むらかみ} 村上 ^{よういち} 陽一

実習先 (株)広島情報シンフォニー
平成13年8月20日~9月5日

実際に仕事をおこなおうとすると、多くの場合知識のない他人と共同で作業しなくてはなりません。そのため相手とのコミュニケーションは非常に重要です。とりわけ自分の考えをはっきり伝える必要があります。そのことと現実に仕事をやる厳しさを、このインターンシップで特に感じました。



● 海外語学研修に参加

とっておきの自分探し

昨年のエバーグリーン州立大学(アメリカ・ワシントン州)に続き、今年の語学研修はシドニー大学(オーストラリア)で平成13年9月1日~17日の間行われた。参加した俵 泰孝君がその感想を次のように述べている。

電気工学科3年生 ^{たわら} 俵 ^{やすたか} 泰孝

少し肌寒い空気とまぶしい朝日、私が着いたその日が「父の日」でした。ホームステイ先には小さな女の子が二人います。手作りのプレゼントをお父さんに見せて、うれしそうでした。



ホスト夫妻と子供たち、同い年の日本学生とトルコからの留学生、それに自分の7人家族です。部屋には机とベッドしかないけれど、充分でした。

初日から遅刻するハプニングもありました。しかしいい友達に恵まれ、不安もいつしか解消されました。見えなかったものが見えはじめ、自分に素直になれました。人生の転機にもなったともいえます。ハイジャックテロには驚きました。大学でも皆テレビにくぎづけでした。誰もが心を痛めたことでしょう。

あれから数ヶ月、貴重な体験もずいぶん前のことのように感じます。当時のやる気は持ち続けていきたいと思います。

未来社会を生き抜く知を修得 学びたいことを見つける 学ぶところを見つける

現代社会学部

「社会調査実習」中間報告

瀬野地区のみなさんに感謝

「社会調査実習」は日常生活の実態や意識を探求する、社会学の主要な科目である。仮説をもとに調査票を作成し、回収されたデータを解析して科学的・客観的に理論へと結びつけるのである。

昨年9月29日から10月2日まで、「瀬野地区住民の生活と意識調査」を計画・実施した。キャンパス周辺から無作為に選んだお宅に学生が調査票を配布し、1週間ほどの後、訪問あるいは郵送で回収した。親切な住民の方々、学生たちも大いに助けられた。また、9月29日には調査拠点として瀬野福祉センターをご提供いただいた。みなさまのご協力で80%という高率の回収を得られ、指導教員一同感謝している。

これからコンピュータを使ってデータを加工・分析し、冊子にまとめる。地域の方々にも是非読んでいただきたいと思う。「顔の見える大学」として一步を踏み出した現代社会学部が、地域に根ざし愛される存在となるよう努力していきたいと願っている。



家庭を訪問する学生

「2001年度日仏社会学会大会」を開催



大会会場風景

2001年度の日仏社会学会大会が、10月27日(土)上瀬野キャンパス(現代社会学部)で開催された。日仏社会学会は、主にフランス社会・社会学を研究する日本の学者によって構成され、日本学術会議に登録されている学術団体である。フランスの社会学者との共同研究や学术交流にも積極的に取り組んでいる。

本年度は、デュルケム研究を中心に密度の高い研究大会が実現した。午前の自由報告では、本学の定松文講師が「フランスにおける地域文化の諸相」と題して研究発表を行った。午後は2つの講演があった。フランス社会学、デュルケム社会理論研究の権威である中久郎京都大学名誉教授は、「デュルケム理論の意義・再考」を説かれた。また、本学会会長の佐々木交賢創価大学教授は、フランス政府からOfficier dans l'Ordre des Palmes Académiquesを贈られ、「フランス社会学研究をふりかえって」と題する記念講演をされた。理論研究と日本社会学の歴史を感得する貴重なひとときであった。

社会科学系学部の産学提携の試み

野村証券提供講座

現代社会学部では昨年11月からこの1月16日まで、野村証券提供による5回シリーズの講座を行っている。野村証券は有名な野村グループの総帥で、屈指のシンクタンクとして知られた野村総研などを抱えている。

従来、金融・証券は経済学部や商学部の分野ではある。だが就職を控えた学生には、第一線で働く方々からじかに話を伺えるまたとない機会であり、何よりも「現代社会」を学ぶうえで非常に有意義である。シリーズの主旨について野村証券の担当者は、「証券市場に関するタイムリーな話題を中心に基本的な考え方を紹介したり、社会情勢と株価の動き、金利変動と債券の動きなどを講義したい」と話した。

11月14日の第1回講義には、70名にも及ぶ受講生が詰めかけた。東京本社から派遣された講師が「自分も皆さんのように熱心に授業を受ければよかった、感激しました」と感想を述べたほどである。受講生からも、おもしろかった、以前から関心のあるテーマだった、わかりやすい説明だった、と好評であった。この講義の様子は、当日のRCCテレビニュースでも紹介された。

今回の試みは社会科学系学部による産学共同のひとつの形であり、インターンシップへの足がかりにもなるであろう。



提供講座

短期
大学部

全日本ゼロハンカーレース2001

第3位に入賞

★のびのびと楽しいゼミ★

第14回全日本ゼロハンカーレースは、2001年8月19日(日)広島県世羅郡の小谷スポーツ公園で開催された。

本学部では、モノづくり授業(選択)の一環として、ゼロハンカー(50cc)を手作りし、毎年レースに出場している。

本年度は「学生部門」24台中、昨年の優勝車を改造した「ヒゲ1号改」が堂々3位、新作の「ヒゲ2号」は惜しくも7位タイであった。



さあースタート!

笑顔がいっぱい

資格にチャレンジ ライセンスをゲット

フォーク・リフト運転技能講習(1トン以上)
9月8日~14日 技能講習会実施



受講者 = 95名
修了者 = 95名
合格率 = 100%

小型車両系建設機械特別教育(3トン未満)
10月20日~27日 特別教育実施



受講者 = 52名
修了者 = 52名
合格率 = 100%

損害保険募集人試験

9月3日~4日講習を実施し、9月6日に試験が行われた。受講者 = 70名、合格者 = 56名、合格率 = 80%

実習設備紹介シリーズ③

電子制御燃料噴射シミュレータ

マイコン式エンジンの作動の中で、エンジンのあらゆる状態に対応して、マイコンが常に最適な燃料を決定する様子を再現するシミュレータである。

●シミュレータの内容

自動車の実運転状態をボード上の実部品、または「つまみ」を操作して再現し、その時の燃料噴射量をオシロスコープで観測する。

●観測項目

外気温度、エンジン温度ごとの各観測項目
1 エンジン始動 2 アイドリング 3 一般走行 4 加速 5 スロットル全開 6 減速 7 エンジン・ブレーキ 8 燃料カット



短大

高校 から発信

1号館リフレッシュ

明るく新調なった教室

今回の内装改修工事は教育環境改善のため、特に生徒の利用が多い個所に重点を置いて行った。まず、教室内を一新した。天井を張り替え照明器具を新しくすることで、見違えるほどきれいに明るくなった。

また、黒板や掲示板は取り替え、個人ロッカーも設置した。



壁を塗り替えドアも塗装し、快適な素晴らしい教室に再生することができた。

学校の顔ともいえる玄関、多くの人利用する廊下や階段、踊り場、手洗い場なども床や天井の張替えを行った。表彰ケースも収納するなどして、明るくかつ格調高い玄関に生まれ変わった。

甲子園が見えた!

ベスト4に進出

硬式野球部

秋季広島県高校野球大会において、本校がベスト4に進出した。3回戦までは幾度か苦境に立たされつつも勝ち上がっていった。準々決勝の対海田高校戦は、エース高木の快投で完勝した。決勝進出をかけた対広陵高校戦では、地区大会で勝利した実績もあり、期待されたが惜しくも敗れた。3位決定戦には、中国大会出場がかかっていた。中盤まではリードし、中国大会さらに甲子園も近づいたかに見えた。しかし、後半疲れの出たエースが広商打線の猛攻を受け、夢は打ち砕かれた。とはいえ野球部の実力は近年着実に伸びている。今大会でそれが証明された格好となり、甲子園への夢が膨らんでいる。

学校見学会に1,200名来校

＝オープンキャンパス盛大に挙行＝

去る9月30日(日)、今年度の学校見学会が盛大に行われた。例年多数の参加者で校内が溢れるのだが、特に今年度は1,200名を超え盛り上がった。女子生徒が7割と例年に増して多かったのが特徴的である。参加者は公開講座を受講し、クラブ活動も自由に見学した。吹奏楽部の臨時演奏会もあり、終わりまで賑わった。



見事! 軟式野球部県大会優勝

第46回秋季県高校軟式野球大会に出場した本校軟式野球部が、堂々の初優勝を果たした。10月29日(月)

に行われた準決勝では呉港高校を4対0の完封で下した。決勝の相手は連続優勝を狙う強豪、広陵高校である。初回に先制するもすぐに追いつかれ、緊迫した試合が続いた。終盤に敵失もからめ2点をもぎとって逃げ切り、



見事優勝旗を手中におさめた。

女子柔道部団体優勝(新人戦)

去る11月3・4日に福山市で県高等学校柔道大会新人戦が開催され、本校Aチーム(女子)が団体で見事優勝した。実力的にはかねてから優勝候補に挙げられており、今大会でようやくこの快挙を成し遂げた。決勝リーグ戦は、県工、皆実、本校A、本校Bの4チームで行われた。また男子も、負傷で出場出来ない正選手が2名もいる中で5位入賞と健闘した。



工学部

機械工学科

たが つ やす ゆき
高津 康 幸 研究室

本研究室のメンバーは、修士課程学生2名ならびに学部生15名から構成されている。研究室の歴史は3年と浅いものの、研究活動はもちろんのこと課外活動(飲み会?)にも積極的に取り組む、気兼ねのない男所帯である。目下のところ、本研究室では、次のような研究課題に取り組んでいる。



研究室勢揃い

(1) 多孔質内乱流に関する研究

多孔質構造体は熱交換器・反応装置あるいは断熱層など様々な分野に応用されている。本研究では、多孔質内部幾何構造の複雑さゆえ、従来から不可能とされてきた多孔質内部の速度場・圧力場および温度場の実験的検証に取り組むとともに、多孔質内乱流構造の素過程の解明ならびにモデリングを試みている。

(2) 生体内血流輸送に関する研究

生体内血管系は複雑なネットワークを有しているため、生体内の流動・熱伝達現象は充分には把握されていない。本研究では、動脈から静脈への組織内毛細血管を通しての血流のバイパス機構などの生体内血管ネットワークに特有の挙動を詳細に検証することにより、生体内熱流動現象を支配する基礎方程式の構築を試みている。

(3) ヒート・アイランド現象に関する研究

エネルギー消費の都市部への集中が、都市の温暖化すなわちヒート・アイランド現象を引き起こす要因となっている。ヒート・アイランド現象は、環境とエネルギーの調和という



鮮やかな色!染料

観点からも重要な課題である。本研究では、ヒート・アイランド現象によってもたらされる大気循環ならびに拡散のメカニズムについて探求している。

現代社会学部

おお はし まさ ふさ
大橋 正房 研究室

学生に教えるのは初心者である。ビジネスの世界でマーケティングにかかわる仕事を30年余りしてきた。企業からの依頼で消費者について調査し、資料を集め、ブームを分析するなどして、新製品開発や広告活動に関する提案や企画を作成するのである。振り返ってみると、消費者を対象とした調査にはこれまで少なくとも1000回はかかわってきたであろうか。洗剤、食品、ビール、家電品、クルマなど、消費財メーカーが製品開発をするための調査があれば、雑誌や放送などマスメディアを立ち上げるための調査もある。そして広告の効果測定する調査もある。また地方自治体が運営する文化施設のコンセプト作りにも役立っている。



研究室紹介

マーケティングでは人を消費者という側面から捉えて調査を行っているが、その方法や考え方は社会調査と同じである。ただ、マーケティングの場合は競争という要素があり、いかにして差別性ある商品やコミュニケーション方法を見つけ出すかが調査の目的となるのである。調査の結果によってどのような商品を開発するか、あるいは広告コミュニケーションをどんな表現で行うかが決定され、現実の行動に移されるのである。多くの成功事例を体験したが、それと同じくらい失敗も体験した。

こうしたマーケティングでの体験を、現代社会という広い枠組みから捉えなおしてみたいと考えている。生活は消費性を高め、企業はあらゆる欲求を商品化しようとする。分化し高度化していく生活と企業をつないでいるのがマーケティングである。マーケティングの要素を取り込み、消費文化あるいは生活文化の変容を何らかの形で整理してみたいと思っている。



著作

「知能情報専攻」を設置

大学院工学研究科に平成14年4月から

次世代の情報システムは、音、画像など様々なメディアを通じて、人間と機械との対話を柔軟に行うことのできる知的で人間的なものになることが予想される。情報工学科では、このような高度化する次世代情報技術を研究教育する「知能情報専攻」(修士)の設置を文部科学省に申請し、認可を得た。本専攻の構成は次の通りである。

次世代の情報システムに対応する 高度な研究と技術者の育成

● 知能情報基礎

人工知能、複雑系、ニューラルネットワークなどを教える「分散型知能システム論」、「知能システム最適化」、「知能情報処理特論」、高度知能化された情報システムの最適化制御などを教える「情報制御理論」、ソフトウェア開発などを教える「数理ソフトウェア」。

● 知能情報応用

情報機器のマルチメディア化に対処できる高度技術者を育成することを目的に、「音声情報処理」、「音響情報処理」、「画像処理工学特論」、メディア伝送に関する「ネットワーク特論」、数値シミュレーションを教える「シミュレーション工学特論」。



ロボットは動く?楽しかった!面白かった!

平成13年8月、暑い夏だったが学内も熱かった。地域センター・中野・瀬野両公民館との共催で、小・中学生を対象に、夏休みの自由研究を応援した。工学部の各研究室と学生が、テーマ(表参照)を持ち寄った。このイベントは、子供たちの疑問と好奇心で沸き立ち、にぎやかな笑い声が学内にあふれた。

本学初の試みは朝日・中国両新聞社に取材され、子供たちの真剣な姿が紙面に彩られた。いずれ大学を選択する年代に達する小・中学生には、知的好奇心を刺激したのでは無いだろうか。

自由研究テーマ	実施日	講師
体験学習-インターネットを使ってみよう!	8月2・3日	中田美喜子
体験学習-ロボットと遊ぼう!		神庭 大博
いろんな温度を計ってみよう!	8月3日	荒川 延浩
なんでも拡大して見てみよう!		田中 謙
電子工作「作ってみよう!」		佐伯 哲二
虹を作ろう!		酒井 恒

「夏休みキミの自由研究応援します」
小・中学生科学の楽しさを本学で体験学習

第34回高城祭

その身体で!「刹那」を感じてー

瞬間的なヒラメキや
感性が効能をもつ!



去る11月17日(土)・18日(日)に中野キャンパスで第34回高城祭が行われた。11月9日、この大学祭にさきがけて、学生は大学内外の清掃を行い、地域住民へ理解と参加を呼びかけた。

刹那



大学祭当日、校内には色鮮やかな入場門や巨大な看板などが設置され、入場者を迎えた。グラウンドの第二入場門をくぐると、学生によるパザールやステージでの様々なイベントでにぎわっていた。当夜祭(17日)のピンゴ大会ではパリ旅行(ペア5日間)を手に入れた幸運な参加者に歓声が上がった。終夜祭(18日)にはゲストライブにあの「RIIZE」がきたこともあって、3000人に近い来場者がつめかけ、例年以上の盛り上がりを見せた。

